

【 2025 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

園名 聖隷のあ保育園

目的：浜松磐田地区の聖隷福祉事業団のこども園・保育園及び関連法人のこども園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

評価日・評価者

評価日 2025 年 10 月 24 日

評価者 園 名 聖隷浜松病院ひばり保育園

役 職 園長 氏 名 森下 美由紀

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

保育者の子どもへの関わりはもちろんのこと、保育者同士が互いを認め合う場面が保育活動の中で見られた。経験年数に関係なく、それぞれの立場で感じたことを伝え、それを受け止めるという姿勢は園目標に沿ったものだと感じた。

子育て支援について、園全体で取り組み、学び合いをしている。また、創立7年目と歴史は浅いが、地域の老人会や学校との交流を積み重ね、関わりを深めていることもよくわかった。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

子どもの靴を履く様子を見守りつつ、タイミングを見極めて2歳児の子どもに、「手伝ってもいい？」と尋ねる場面があった。子どもの思いを尊重しながら、支援ができていると感じた。

一方で、給食場面では、苦手意識をもつ食べ物に対して、挑戦した子どもの前向きさをもう一步早い段階で認められると良いという印象を受けた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

規程に基づき、適切に行われている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

苦情解決の体制に基づき、適切に行われている。

保護者との信頼関係の構築に日々努めていることが、職員の話からも伝わってきた。実際の対応に留まらず、会議では事例検討も行っているとのことだった。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

園長が中心となり取り組んでいる。保護者の方との情報共有は掲示板等も活用し、分かり易い掲示となっている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

消防計画に基づき、園長が中心となって取り組まれている。交通量の多い園周辺であるが、散歩に出掛ける際には、子どもたちの経験も保障しつつ安全にも十分留意されていた。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

設備面でも園長が中心となり修繕の必要箇所に対し、迅速に対応している。建物の都合上、マンションの管理者との連絡調整も必要となり、そのための関係づくりにも努めていることがわかった。

運営については、法人本部の協力も得ながら行っている。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

園内外の清掃が行き届き、清潔感の感じられる環境であった。限られたスペースの中で、整理整頓にも工夫が見られた。

利用者となる子どもの年齢的な難しさと設備面の限界もあるが、季節感が感じられる植物等が身近にあると尚良いと感じられた。ただし、戸外へ散歩に出ると、中心街でありながらどんぐりが落ちているなど、季節感が得られる経験の場は用意されている。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

限られたスペースの中で、子どもの成長発達と興味を踏まえた環境設定がなされている。特に0歳児と1歳児のスペースを繋ぐトンネルは魅力的であった。月齢差のある年齢に於いて、子どもたちが制限されることなく自由に行き来できる点でも、子どもたちの主体性が尊重されていると感じた。また、活動に合わせてさりげなく、速やかに環境構成できるためのパーテーションなども工夫されていた。手作り玩具が豊富で、それらを丁寧に扱う職員の姿勢が、子どもたちにも伝わっている。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活

面の自立ができるようになる。

0～2 歳児の乳児保育が、温もりのある雰囲気のもと展開されている。園児数が少人数で、広すぎはしない保育室という物的環境も、その雰囲気を作り出す一因になっている。例えば2 歳児の排泄・着脱・手洗いの自立を促すための環境構成も工夫されていると感じた。年齢発達を抑えつつ、それぞれ異なる発達段階への支援が、一人ひとりに対して丁寧に行われていた。また、その支援のために必要となる職員の連携もよく図られていた。

【全体を通して】

少人数の良さを活かした家庭的な保育が、物的・人的環境の両面から叶えられていると感じた。その中でも、園ならではの子ども同士の関わりが尊重され、互いに刺激を受けながら生活できている。子どもたちに生活の流れが定着していることで、主体的な言動も促され、園目標に基づいた保育・教育の展開がなされていると感じた。小規模園ならではの難しさもあるが、職員のチームワークの良さは際立っていた。

また、子どもの様子に応じた手作りの玩具は、子どもの遊びが豊かになるだけでなく、保育の質向上にも繋がっていると言える。自園でも取り入れたい。